

ベトナム・チョーライ病院と筑波大学附属病院との第12回テレカンファレンス

国際医療センター

平成28年10月31日(月)に筑波大学附属病院とベトナム・ホーチミン市のチョーライ病院との間で第12回テレカンファレンスが実施されました。テーマは内視鏡治療で内視鏡分野では2度目の開催でした。チョーライ病院、筑波大学附属病院両者から内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)に関する症例報告がありました。参加者は筑波大学附属病院から20名以上、チョーライ病院側からは約15名が参加しました。ベトナムにおいては腹痛などの症状が出て初めて病院を訪れる症例が大半であり早期がんの発見、内視鏡的治療適応症例はまだ少なく、今後検診などの発展とともに侵襲の少ない治療法の適応となる症例数が増えることが期待されます。



筑波大学附属病院側の遠隔医療会議室